# 財務の概要

## (1) 資金収支計算

資金収支計算について、予算と決算の対比による主な内容をご報告いたします。

#### 資金収支総括表

(収入の部)

(単位:百万円)

		科	目				予 算	決 算	差 異	
学	生生	徒 等	納付	寸 金	収	入	35,356	37,309	△ 1,953	7
手	数	料	+	収		入	2,289	3,349	△ 1,060	-
寄	付	金	2	収		入	416	485	△ 69	
補	助	金		収		入	3,373	4,243	△ 870	-
資	産	運	用	43	Z	入	462	804	△ 342	
資	産	売	却	43	Z	入	13,290	22,291	△ 9,001	
事		業	47	又		入	373	362	11	
雑		47	1			入	510	740	△ 230	
借	入	金	等	43	Z	入	5,001	3,501	1,500	-
前	受	金	2	収		入	7,686	6,592	1,093	
7	の	他	0	43	Z	入	1,665	2,072	△ 407	
資	金坝	入	調	整	勘	定	△ 10,806	△ 13,290	2,484	
当	年 度	資 金	収	入	合	計	59,614	68,456	△ 8,842	
前	年 度	繰 越	支	払	資	金	11,271	11,271		
収	入	の	部	2	7	計	70,885	79,727	△ 8,842	

大学部の2007年度新入生が見込みを 上回りました。

大学部の志願者数が見込みを上回り ました。

国庫および地方公共団体からの補助金の収入が見込みを上回りました。

短期の有価証券を売却し資金化しました。

建設事業の執行状況を勘案し、借入金を減額しました。

学費徴収方法変更により見込みを下回りました。

#### (支出の部)

			科		目				予 算	決	算	差	異	
		件		費		支		出	23,220	22	,403		816	7
¥	育	研	究	2	経	費	支	出	10,536	10	,245		290	
The same	H	1	経		費	3	支	出	2,068	2	,068		0	
昔	入	金	等	F	利	息	支	出	137		106		30	
昔	入	金	等	F	返	済	支	出	4,900	4	,900		0	
<u>t</u>	Ē.	r Z	関		係	3	支	出	8,510	6	,418	2	2,092	
T Z	仿	莆	関		係	3	支	出	770		770		0	
Z.	產	Ē	運		用	3	支	出	9,591	9	,769		178	
-	0	)	他		0	3	支	出	1,963	2	,088		125	
		予		備		費		)	(210) 790		_		790	
Ž.	金	支	出	1	調	整	勘	定	△ 834	Δ	859		25	
á	年	度	資	金	支	出	合	計	61,651	57	,911	3	3,741	
7	年	度	繰	越	支	払	資	金	9,234	21	,817	△ 12	2,583	
Z	Н	4	の		部	1	合	計	70,885	79	,727	△ 8	3,842	
	文章昔昔也交至。至当又一	育 五人 三价 0 金年年	牧の書きをひると、ではて育 理入 設備産の予 支度度研 金金	は	はいます きょう では できます では できます できます できます できます できます できます かい こう はい はい こう	件研金金 管理入入設備産の予支度度 の予支度度 の予支度度 を発等等関関運他 出資繰 は、企業を のである。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでる。 のでする。 のでる。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のです。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでする。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。	世界 では、	件 骨 理 全 金 要 要 出 払 を で ままままで で で を で を で を で を で を で を で で で で	世界	は 育 研 究 経 費 支 出 10,536 理 経 費 支 出 2,068 計 入 金 等 利 息 支 出 137 は 入 金 等 返 済 支 出 4,900 設 備 関 係 支 出 8,510 で 産 運 用 支 出 9,591 で の 他 の 支 出 1,963 で の 他 の 支 出 1,963 で 1,963 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	供費     支出     23,220     22       有研究経費支出     10,536     10       理経費支出     2,068     2       計入金等 利息支出     137       計入金等返済支出     4,900     4       設関係支出     8,510     6       设備関係支出     770     9       企産運用支出     9,591     9       企の他の支出     1,963     2       の他の支出     1,963     2       の他の支出     1,963     2       金支出調整勘定     △834     △       経年度資金支出高数協定     61,651     57       年度繰越支払資金     9,234     21	(大) 内 費 支 出       23,220       22,403         (大) 育 研 究 経 費 支 出       10,536       10,245         (古) 丑 経 費 支 出       2,068       2,068         (古) 入 金 等 利 息 支 出       137       106         (古) 入 金 等 返 済 支 出       4,900       4,900         (古) 入 金 等 返 済 支 出       8,510       6,418         (日) 保 支 出       770       770         (日) 保 支 出       9,591       9,769         (日) ア の 他 の 支 出       1,963       2,088         (日) ア の 他 の 支 出       1,963       2,088         (日) ア の 他 の 支 出       1,963       2,088         (日) ア の 他 の 支 出       1,963       2,088         (日) 日 の き 出       1,963       2,088         (日) ア の 他 の 支 出       1,963       2,088         (日) 日 の き ま 出       1,963       2,088         (日) 日 の き ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	件費     費支出     23,220     22,403       放育研究経費支出     10,536     10,245       資理経費支出     2,068     2,068       建入金等利息支出     137     106       持入金等返済支出     4,900     4,900       設関係支出     8,510     6,418     2       设備関係支出     770     770     770       資産運用支出     9,591     9,769     △       どの他の支出     1,963     2,088     △       予備費     1     (210) 790     一       資金支出調整勘定     △834     △859       有年度資金支出合計     61,651     57,911     3       工年度繰越支払資金     9,234     21,817     △	は、 件 費 支 出 23,220 22,403 816 対 育 研 究 経 費 支 出 10,536 10,245 290 連 理 経 費 支 出 2,068 2,068 0 連 入 金 等 利 息 支 出 137 106 30 連 入 金 等 返 済 支 出 4,900 4,900 0 設 関 係 支 出 8,510 6,418 2,092 设 備 関 係 支 出 770 770 0 産 運 用 支 出 9,591 9,769 △178 の 他 の 支 出 1,963 2,088 △125 予 備 費 〕 (210) 790 — 790 産 金 支 出 調 整 勘 定 △834 △859 25 4 年 度 繰 越 支 払 資 金 9,234 21,817 △12,583

年金への繰入が当初計画を下回りま した。

光熱水費が減となったことなどにより、予算を下回りました。

小金井キャンパス再開発建設工事の 着工遅延による未執行などにより、 見込みを下回りました。

当 年 度 資 金 収 支 差 額 △ 2,037 10,546 △ 12,583 (注1) 上記の表の金額は百万円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算

上一致しない場合がある。なお、以下の表についても同様である。

(注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

#### 資金収支計算の中の経常的収支計算

(単位:百万円)

4		N. C. S. S.	950		4				予 算	構成率(%)	決 算	構成率(%)	差 異
				総額					35,356		37,309		△ 1,953
			(△) ≹	教育充:	実費				△ 7,415		△ 7,791		376
	学	生 生	徒等	幹 納	付	金	収	入	27,941	79.5%	29,517	75.4%	△ 1,576
(A)	手	数		料		収		入	2,289	6.5%	3,349	8.6%	△ 1,060
経				総額					416		485		△ 69
		(△)	特定資金	金のた	めの習	字付金	È		△ 112		△ 290		178
常	寄	付		金		収		入	304	0.9%	195	0.5%	109
的				総額					3,373		4,243		△ 870
収		(∠	〉研究	記設備補	助金	他			△ 107		△ 82		△ 24
	補	助		金		収		入	3,266	9.3%	4,161	10.6%	△ 894
入	資	産	運	F	Ħ	収	!	入	462	1.3%	804	2.1%	△ 342
	事		業		収			入	373	1.1%	362	0.9%	11
	雑			収				入	510	1.5%	740	1.9%	△ 230
				計					35,145	100.0%	39,128	100.0%	△ 3,982
				総額					23,220		22,403		816
			(A)	退職金	古出				△ 735		△ 1,104		370
(B)	退	職資	産 ^	の	繰	入	支	出	1,639		1,639		△ 0
経	人	件		費		支		出	24,124	68.6%	22,938	58.6%	1,186
常				総額					10,536		10,245		290
的		(△)	建設事	業に係	わる	経費			△ 527		△ 787		261
	教	育 石	开究	経	賃	ŧ	支	出	10,009	28.5%	9,458	24.2%	551
支				総額					2,068		2,068		0
出		(△)	建設事	業に係	わる	経費			△ 372		△ 438		66
	管	理	経	1	ŧ	支		出	1,696	4.8%	1,629	4.2%	66
	借	入 盆	等 等	利	É	1	支	出	137	0.4%	106	0.3%	30
				計					35,966	102.3%	34,132	87.2%	1,834
(C)	( ,	А — В	) 7	経常	的	汉 3	支 差	額	△ 821	△ 2.3%	4,995	12.8%	△ 5,816

<sup>(</sup>注1) 経常的支出の各構成率は、経常的収入合計に対する比率である。 (注2) 予算額は、予備費充当後の金額である。

「経常的収支計算」は、本学が独自に資金収支計算のうちから、施設設備に係わる収支などを除き、経常的収支 に関する部分を抽出して作成したものです。

学生生徒等納付金収入および手数料収入が見込みを上回ったこと、人件費支出および教育研究経費支出が見込み を下回ったことなどにより、経常的収支差額は予算を5,816百万円上回る収入超過となりました。また、経常的収 支差額比率(経常的収支差額の経常的収入合計に対する比率)は12.8%と、予算を15.1ポイント上回りました。

## (2) 消費収支計算

消費収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

#### 消費収支総括表

#### (消費収入の部)

(単位:百万円)

			科	目				予 算	決 算	差 異
学	生	生	徒	等	納	付	金	35,356	37,309	△ 1,953
手			娄	故			料	2,289	3,349	△ 1,060
寄			1	र्न			金	416	1,041	△ 625
補			且	力			金	3,373	4,243	△ 870
資	産		運	用		収	入	462	804	△ 343
資	産		売	却		差	額	12,758	12,968	△ 211
事		業	ŧ		収		入	373	362	11
雑			4	又			入	510	741	△ 230
帰	属		収	入		合	計	55,536	60,817	△ 5,280
基	本	金	組	入	額	合	計	△ 5,780	△ 6,304	525
消	費	収	入	の	部	合	計	49,756	54,512	△ 4,756

#### (消費支出の部)

		科	目			予 算	決 算	差 異
人		1	‡		費	22,556	21,904	652
教	育	研	究	経	費	14,400	14,104	296
	(	内 減	価化	賞却	額)	(3,864)	(3,858)	(6)
管		理	縚	1	費	2,192	2,365	△ 173
	(	内 減	価化	賞却	額)	( 283 )	( 281 )	(1)
借	入	金	等	利	息	137	106	30
資	産	処	分	差	額	1,010	1,146	△ 136
徴	収	. 7	<b>F</b>	能	額	0	0	△ 0
消	費	支 出	の	部台	計	40,295	39,626	668
帰	属	収	支	差	額	15,242	21,190	△ 5,949

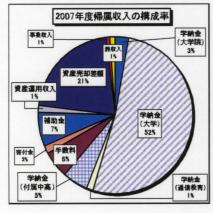
帰	属	収	支	差	額	15,242	21,190	△ 5,949
帰	属 収	支	差	額 比	率	27.4%	34.8%	_
当	年度 消	肖費	収力	入超 過	額	9,462	14,886	
前	年度繰	越消	費支	出超過	鱼額	33,353	33,353	
32	年度繰	越消	費支	出超過	鱼額	23,891	18,467	

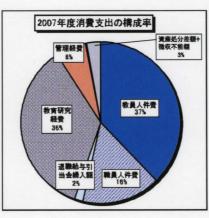
(注1)

帰属収支差額=帰属収入-消費支出

(注2)

帰属収支差額比率=帰属収支差額:帰属収入×100





## (3) 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。

#### 貸借対照表

#### (資産の部)

(単位:百万円)

	科目	本年度末	前年度末	増 減
	固定資産	160,352	151,172	9,180
資	有形固定資産	123,071	121,140	1,931
	その他の固定資産	37,281	30,032	7,249
産	流動資産	28,087	25,261	2,826
	合 計	188,439	176,433	12,006

#### (負債の部、基本金の部、消費収支差額の部)

	科目	本年度末	前年度末	増 減
負	固定負債	14,537	16,061	△ 1,524
	流動負債	12,510	20,170	△ 7,660
債	計	27,047	36,231	△ 9,184
	基本金	179,859	173,555	6,304
	消費収支差額	△ 18,467	△ 33,353	14,886
合	計	188,439	176,433	12,006

#### (参考)

正味資産	161,392	140,202	21,190
------	---------	---------	--------

#### ※ 正味資産=資産-負債(=基本金+消費収支差額)

減価償却額の累計額	58,418	56,370	2,048
基本金未組入額	11,047	12,949	△ 1,902

#### [貸借対照表注記事項] (抜粋)

#### (1) 有価証券の時価情報

 (単位:百万円)

 貸借対照表計上額
 時価
 差額

 35,824
 34,956
 △867

- (2) 学校法人の出資割合が総出資額の2分の1以上である会社
  - a. 株式会社エイチ・ユー

#### <事業内容>

・書籍・文具・事務機器等の販売 ・建物内外の清掃・保 守管理・警備 ・印刷業 ・一般及び特定労働者派遣事 業 ・有料職業紹介業 ・一般土木建築工事業 など

#### b. 法政ナレッジ・クリエイト株式会社

#### <事業内容>

- ・各種国家試験、各種資格取得のための講習会の企画、開催 及び運営
- ・社会人及び学生・生徒に対するビジネス、教育、心理、外 国語、情報処理、一般教養及び趣味に関する教養講座の企画、 開催及び運営
- ・講演会、各種セミナー等による情報提供業務、各種研修の 受託
- ・各種イベントの企画及び運営 など

#### (3) 本学の学内年金決算における年金財政貸借対照表 年金財政貸借対照表

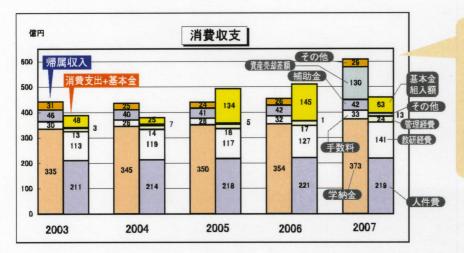
2007年7月31日

(単位:百万円)

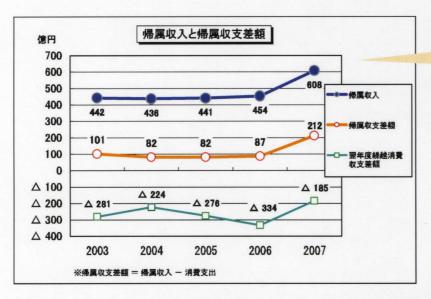
借方		貸方			
勘定科目	金額	勘定科目	金額		
年金信託受益権	18,280	支払備金	C		
未収掛金	0	責任準備金	27,108		
過去勤務債務等の現在額	8,828				
合計	27,108	合計	27,108		

## 過去5年間の推移

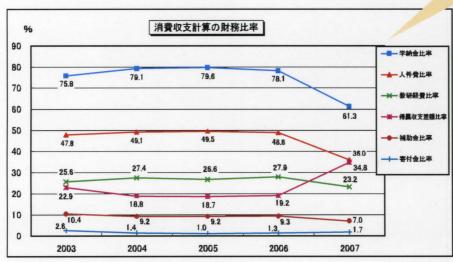
### ■消費収支の推移



大学部の2007年度新入生数の増、志願者数の増、志願者数のの中学高等学校のの旧属のの場合により帰また。が増加しました。を対しまりの新学学校の新学学額、延舎基金の入れました。



大学部の2007年度新入生数の増、志願者数の増および中学高等学校の旧校地売却などにより帰属収支差額は大幅に改善しました。

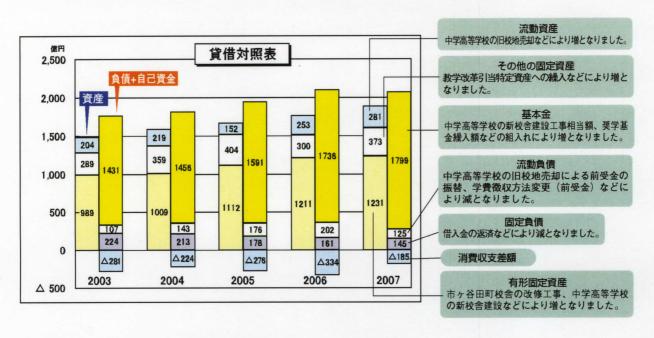


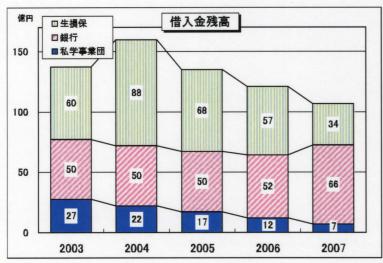
各比率は中学高等学校の旧校地売却などにより低大しました。さらに、大学部の2007年度新入生数の増、志願者数の増の影響により帰属収支差額比比解としている10%を大幅としている10%を大幅に上回りました。

(2007年度特有の土地売却差額を除いた帰属収支差額比率は17.2%)

(注) 比率は、各々の帰属収入に対する 割合を示している

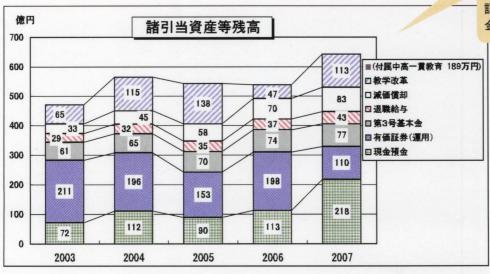
## ■貸借対照表の推移

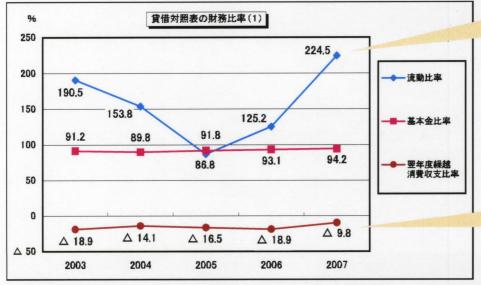




2007年度については、 新規の借入が返済額 を下回ったため、借 入金全体では残高が 減少しました。

> 教学改革引当特定資産 への繰入を行いまし た。また、短期有価証 券の売却により、有価 証券が減少し、現金預 金が増加しました。





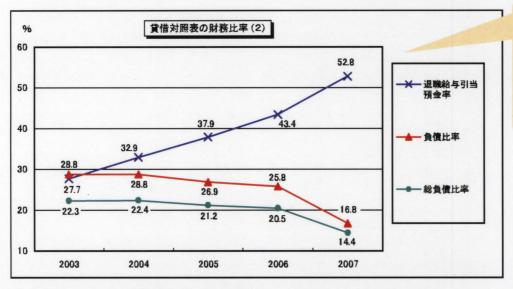
(注)流動比率:短期的な負債の償還に対する流動資産の割合で、支払能力を示す指標

翌年度繰越消費収支比率:翌年度繰越消費収支差額の総資金に占める割合

基本金比率:100%に近いほど基本金の未組入額が少ないことを示す

中学高等学校の旧 校地売却などによ り流動比率は増加 しました。

大学部の2007年度 新入生数の増、志 願者数の増および 中学高等学校の旧 校地売却などによ り帰属収入が増加 し、翌年度繰越消 費収支比率は改善 しました。



退職給与引当預金 率は改善傾向にあ ります。負債比率、 総負債比率も中学 高等学校の旧校地 売却などにより 2007年度は改善傾 向にあります。

(注)退職給与引当預金率:退職給与引当金に見合う資産を、どの程度保有しているかを示す指標 本学の退職給与引当金の計上額の目標は、退職金要支給額の50%としている 負債比率:他人資金が自己資金を上回っていないかを示す指標 総負債比率:負債総額の総資産に対する割合で、50%を超えると負債が自己資金を超過していることを示す